

ファンドの価値観～Common Values(コモン バリューズ)～ 今日よりよい明日を育む長期投資

今月のコモンズレター主な内容

P2 運用状況をチェック!

P3 コモンズ30ファンドのポートフォリオはこちらをご覧ください

P4 こどもトラスト、SEEDCap情報等、コモンズの活動はこちらをご覧ください

【97.7%】

この数字、金融庁が2018年6月に公表した「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI(重要な業績評価指標)」の実績から、2018年3月末時点において当社でファンドを保有するお客さまのトータルリターンでみると『97.7%のお客さま』が運用損益でプラスになったことを現わしています。公表されているデータによれば、同時点で主要銀行など9行+地域銀行20行のお客さまで利益が出ている方の比率は約54%、ネット証券大手4社では同比率が約64%となっています。また、直販を行っている独立系投信会社の中でも高い比率となりました。

3月末時点では日経平均株価も21,454円でしたので、単純な株高によるものではありません。

少し、その要因を見てみます。まず、当社のお客さまの約79%の方が、長期的な資産形成を目的につみたて投資をされています。その結果、2009年の創業時(コモンズ30ファンドの運用開始)から2016年までに口座を開いた方では99.4%から100%の方で運用損益がプラスになっています。2009年から今年までの株式相場はリーマンショック後の不景気、東日本大震災、75円までいく超円高など決して良好な市場環境ではありませんでしたが、長期的な視点でのつみたてによる資産形成の威力が存分に発揮された結果だと思います。

当社をご利用いただいているお客さまのほぼ全ての方の資産形成のお役に立てていると思うと本当に嬉しい限りです。日本で投資信託を保有している人は、人口の7%程度と言われます。投資信託の歴史は半世紀以上に上りますが、まだまだ投資信託を活用して資産形成をされている方は少ないのが現状です。米国では50%程度の世帯

で投資信託を活用した資産形成が行なわれています。この違いは、いろいろな要因があると思いますが、日本では成功事例が少ないことに大きな要因があると言われてい

ます。当社は、引き続き、お客さまの夢の実現や将来の希望に少しでも貢献出来るように、運用力を不断の努力で磨き込み、多くのお客さまにその価値を伝えていくことに頑張っ

て参ります。引き続き、ご期待ください。
(ご参考)「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」公表のお知らせ

https://www.common30.jp/files/uploads/News/Release_20180928_kpi.pdf

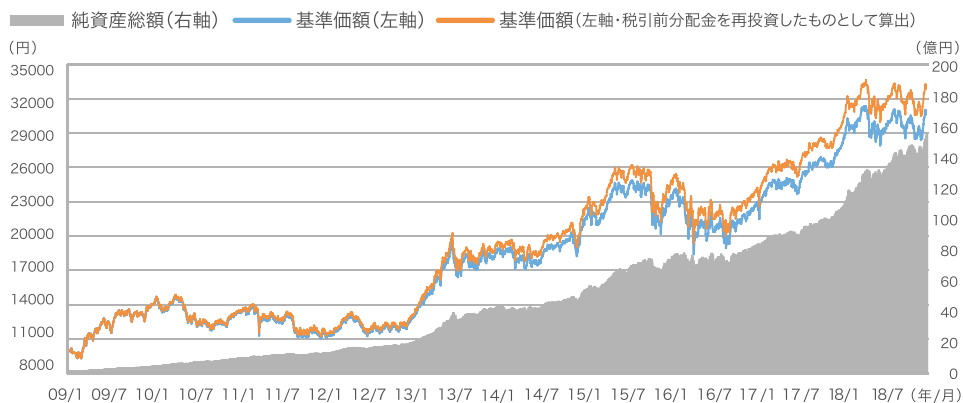
渋澤と伊井の「今月の想い」

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長
伊井 哲朗



※隔月で伊井、渋澤が執筆いたします。

基準価額の推移



ファンドのデータ

(2018年9月28日付)

基準価額	30,971円
純資産総額	15,493百万円

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。
 ※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述の「コモンズ30ファンドの費用」をご覧ください)。
 ※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により減減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.0584%(消費税込)です。
 ※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

基準価額(税引前分配金を再投資したものとして算出)の騰落率

(2018年9月28日付)

過去1ヶ月間	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
4.75%	4.67%	5.86%	13.76%	52.11%	75.94%	232.40%

※「基準価額の騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。

分配実績(1万口あたり、税引前)

第5期 (2014年1月20日)	第6期 (2015年1月19日)	第7期 (2016年1月18日)	第8期 (2017年1月18日)	第9期 (2018年1月18日)	設定来累計
200円	220円	0円	240円	250円	1,360円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。

運用状況

◎運用レビュー

9月のファンドの月間リターンは4.75%の上昇となりました。

◎9月の個別銘柄リターン

銘柄別の月間リターン上位3銘柄は、「日揮(+16.44%)」、「丸紅(+14.09%)」、「マキタ(+12.90%)」となりました。日揮は、得意とするLNG(液化天然ガス)プラント建設の受注環境が北米を中心に良好なことや、原油価格上昇が追い風となりました。丸紅は、ビジネスにおけるアメリカのウエイトが高いことや、業績および財務内容の着実な改善が評価されました。マキタは、中国をグローバル生産拠点としており、元安の恩恵が注目されました。

下位3銘柄は、「東京エレクトロン(▲17.30%)」、「堀場製作所(▲12.50%)」、「ベネッセHD(▲6.91%)」となりました。東京エレクトロンは、需要一服による半導体需給の悪化観測で、来年の半導体設備投資の調整が懸念されております。堀場製作所は、8月に2018年12月期通期業績を下方修正しましたが、引き続き半導体需給悪化懸念がマイナス材料となっております。ベネッセHDは、進研ゼミの立て直しが遅れていることが嫌気されています。

シニア・アナリスト 上野 武昭

◎運用責任者メッセージ

9月の内外金融市場は、引き続き米中貿易摩擦に対する懸念が高まっていましたが、米国による対中国への追加関税第三弾の発動により、むしろ悪材料出尽くしとなりました。その結果、下旬にかけては米国株が牽引役となり、主要国の株価指数が上昇しました。

国内株式市場でも世界的な株高から日本株に対する見直し買いも入り外国人主導による株高となりました。業種別では、石油価格の上昇などから資源関連や内需関連株が買われました。

当ファンドでは業績好調な旭化成、ダイキン、マキタ、ユニ・チャーム(銘柄コード順)の4銘柄が上場来高値を更新し、組み入れ銘柄30社中23社の株価が上昇しました。一方で7社の株価が値下がりし、結果として月間騰落率ではTOPIX(東証一部株価指数)や日経平均株価を若干下回り4.75%の上昇となりました。10月は第4次安倍改造内閣が発足します。新体制での取り組みを注視していきたいと考えています。また、月末からは決算発表が始まりますが、足元の円安効果もあり業績上方修正する銘柄に注目して参ります。

引き続き、当ファンドにご期待ください。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◎投資委員会メンバー

○伊井哲朗、渋澤健、鎌田聡、上野武昭、末山仁 / ○は最高運用責任者

●組入比率と組入銘柄に関しては、マザーファンドについての記載となります。

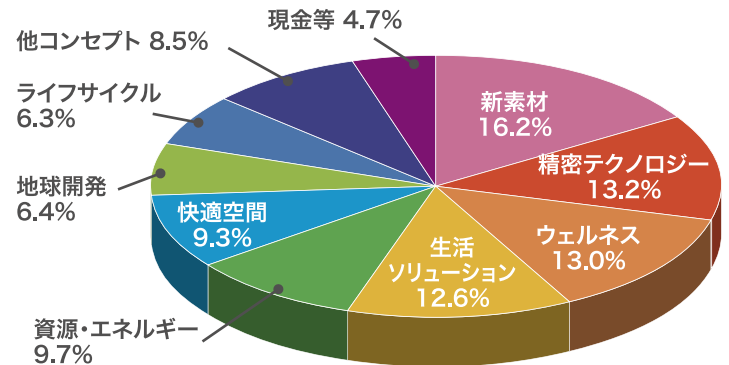
ポートフォリオの構成比

	当月末	前月末比
株式	95.3%	▲2.7%
現金等	4.7%	2.7%
構成銘柄	30社	±0社

●ポートフォリオの構成比と未来コンセプト別構成比に関しては、マザーファンドについての記載となります。

未来コンセプト別構成比

(2018年9月28日付)



組入上位10銘柄

(2018年9月28日付)

コード	銘柄名	未来コンセプト	概要	組入比率
2371	カカコム	生活ソリューション	インターネットユーザーに「便利」を届け続ける	3.9%
6856	堀場製作所	精密テクノロジー	「おもしろおかしく」、時代に合わせて領域を拡大	3.9%
4911	資生堂	ウェルネス	銀座も、アジアも、美しく	3.8%
8035	東京エレクトロン	精密テクノロジー	創業時のエネルギーが、脈々と続く「革新」を続ける会社	3.8%
6988	日東電工	新素材	柔軟変化し、持続成長が続くグローバルエリアニッチトップ	3.7%
6301	コマツ	地球開発	世界のインフラを作る日本のモノづくり力&IT力	3.6%
4755	楽天	生活ソリューション	強烈な成長意欲で、アジアを代表するインターネット企業	3.6%
4063	信越化学工業	新素材	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性	3.5%
6146	ディスコ	精密テクノロジー	kiru, kezuru, migaku, 世界を代表する精密加工装置メーカー	3.5%
6869	シスメックス	ウェルネス	起源は音響機器、今は血球計数分野で世界No.1、成長するグローバルニッチのリーダー	3.5%

◎未来コンセプトとは 当ファンドが独自に行っている業種分類です。以下のように10種類に分類を行っております。

「資源・エネルギー」「新素材」「精密テクノロジー」「ウェルネス」「生活ソリューション」「社会インフラ」「未来移動体」「快適空間」「地球開発」「ライフサイクル」

新規組入投資先

なし

今月のピックアップ!

9月は日揮の株価が16.44%上昇しました。得意とするLNG(液化天然ガス)プラント建設の受注環境が北米を中心に良好なことや、原油価格上昇が追い風となりました。LNGプラント建設の需要が高まっているのは、中国での天然ガス需要が急拡大しているためです。中国は大気汚染対策として、発電設備や工場のボイラーなどで使用する燃料を石炭や重油から環境負荷が低い天然ガスへ切り替える方針を掲げており、これに伴いLNG輸入量が増加しています。LNGプラント建設は、1案件で数千億円規模と超大型受注となります。会社側は、LNGプラントを中心に今期1兆円(前期実績は5,478億円)の受注を計画していますが、21年3月期頃にかけても複数案件の受注が期待され、高水準の受注が続く見込みです。また、原油価格が70ドル(WTI原油)を突破し、堅調に推移していることは、産油国やメジャーオイルといった顧客側の収益改善につながります。日揮などプラント建設企業への発注価格の引き上げも期待できると見ております。

シニア・アナリスト 上野 武昭

企業との対話

見えない資産にスポットを当て、企業価値の向上ストーリーを語る

8月24日に開催したコモンズ30塾「統合レポートを読み解く～堀場製作所～」における、IR担当副部長上杉英太さまによる統合レポートのプレゼンテーション(抜粋)をお届けします。

■「見えない資産」をどう読ませるか

弊社のIR活動が本格化したのは、2000年からなので、その歴史は18年足らずですが、この間にIR協議会などから表彰いただいたこともあります。統合レポートは2013年から発行しています。堀場製作所が考える統合レポートとは、財務情報をベースにしているものの、同時に、財務諸表に載らない情報、つまり見えない資産である人材や技術などにスポットを当てつつ、企業価値の向上ストーリーを語ることだと思っています。言い換えると、会社を最も正確に表現する年次報告書が統合レポートであるという認識です。また2013年版までGaiareportというCSR報告書を発行していたのですが、現在、冊子としては発行を止め、詳細情報をウェブサイト公開する形に移行しました。対象読者は長期視点の投資家です。何を伝えれば、長期目線の投資家が堀場製作所のファンになってくれるかを日々考えながら、年1回の冊子にまとめる努力をしています。そのために、アクセントと一貫性のある誌面構成を心掛けています。特徴は4つあります。第一に、「見えない資産」にフォーカスしていること。統合報告書としてのHORIBAレポートは2013年からですが、アニュアルレポートは1998年から刊行していて、「見えない資産」を掲げるようになったのが2004年からです。堀場製作所の株価は、上場した1970年代から2000年前後まで、ずっと1,000円前後で底這いだったのですが、徐々にその辺りから、企業価値の向上を目指し、見えない資産に注目するようになりました。第二に、コンパクトなページ数と、持ち運びしやすい軽さ。実際、ページ数は少ないですし、手に持った感じも軽くするため、紙質にも工夫をしています。第三に、自分で考え、自分で書くことを心掛けています。ライターに依頼する部分は、ごく一部に過ぎません。出来る限りIR担当が、自分の言葉で書くことをモットーにしています。第四は、人の顔が見えること。製品そのものよりも、堀場製作所という会社を紹介するための媒体ですから、どのような人がこの会社を運営しているのかを紹介したいと考えています。個人的に注目していただきたいのが、HORIBA Reportの5ページ目にある「HORIBAの価値創造サイクル」というタイトルの特集です。堀場製作所の価値創造サイクルを、木に喩えて表現してみました。「おもしろおかしく」という企業文化が土壌になり、冒頭で触れた5つの事業という「幹」を築き、見えない資産や事業、価値といった果実がなっていく。そして、果実の種が地面に落ち、それがさらに豊かな土壌を築いていくというものです。お金という経済的な価値だけではなく、社会的な価値を生み出していく形も見せられるようにしました。特にSDGsやESG投資の考え方を踏まえ、CSRのページで、それらの考え方や活動内容の説明につなげています。(中略)そして、これは将来的な話ですが、継続的かつ長期的な成長を目指していくうえで、今後の経営人材育成をどうするかも含めて解説しています。(中略)最後に、統合レポートを作るうえでの苦労話ですが、やはり58ページという限られたページ数の中で、すべてを紹介しきれないもどかしさがあります。あるいは各事業部門が、それぞれのお客様に対してアピールしたいことと、株主の皆様に対してアピールしたいことには、どうしても違う視点が入ってきますので、そのすり合わせをどうするか、苦労しました。ここは常に頭を悩ませるところです。このような苦労はありますが、継続的な企業価値の向上に向けて、今後さまざまな工夫をしていきたいと考えています。ご清聴、ありがとうございました。

講演抄録・トークセッション全文はこちらからお読み下さい。https://park.common30.jp/2018/09/blog-post_21.html

マーケティング部 福本 美帆

「ワイガヤ」に、コモンズSEEDCap応援先PIECES小澤いぶきさんが登場!

当社では、お弁当を持ち寄り社員同士が語り合う「ワイガヤ」というランチタイムが、月に1回設けられています。時に外部から講師をお招きするのですが、9月の「ワイガヤ」では、今年度コモンズSEEDCap応援先 PIECES代表 小澤いぶきさん(手前右から3番目)と理事青木翔子さん(手前右から2番目)が同団体の活動についてお話をくださいました。「小澤さんのお話の中で「よりそう」という言葉を使っていたらいいのですが、そのとおり支援される子供たちの興味・自発性、心をとても大事にした形で、支援システムを用意して組み込む等ではなく、子供たちと一緒に何かを始めていく形になっていて良いと思いました。また、支援後、元の世界(=その人の孤立を生んだ世界)に戻すことを目指すのではなく、1人1人の幸福度が上がる、というお話に刺激を受けました。」とは参加した社員の声。



来る第10回社会起業家フォーラムでは、コモンズSEEDCap受賞式も開催します。また11人の登壇者の中から未来の応援先が誕生するかもしれません。ぜひご参加ください。

【第10回コモンズ社会起業家フォーラム参加者募集中!】

日時:10月14日(日) 14時～17時 場所 東京都文京区@文京学院大学 仁愛ホール

お申し込みはこちらから→<https://www.common30.jp/seminars/detail/694>

SEEDCap 担当 馬越 裕子

お客さまの声

セミナー参加者からいただいたお声を紹介します。

はじめてのコモンズ(ファンド説明会)



お客さま
30代・男性

国の動向やつみたて投資等、ポイントがまとめられており、とてもわかりやすかった。

投資というだけで難しくお話を聞いてもわからないかなと思っていましたが、とてもわかりやすくなんだか身近に感じました。興味も湧きました。



お客さま
40代・女性

【新企画】コモンズのアナリストに聞いてみよう！



お客さま
40代・女性

個人ではなかなか聞けない話をうかがえて、とても参考になりました。人数も絞られていたので、質問しやすく、他の方の質問も良い質問が多く学びが多かったです。

アナリストの皆さんの誠実さが感じられた。新しく入った銘柄の話も聞きたかったです。



お客さま
40代・男性

コモンズ子育て応援イベント「ひとりでがんばらなくていい子育て」



お客さま
女性

なるほどなあ、と思いながら聞かせていただきました。自分のやり方が間違っていなかったのかな、と安心しました。

また小澤いぶきさんのお話を聞く機会を作って欲しいです。



お客さま
男性

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報はコモンズ投信ウェブサイトの「セミナー情報」をご覧ください。

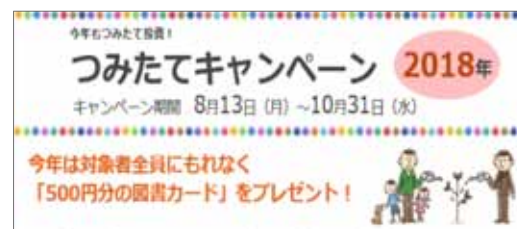
<https://www.common30.jp/seminar/>

セミナー名		日付	時間	場所
第10回コモンズ 社会起業家フォーラム	フォーラムの部	10月14日(日)	14:00～17:00	文京学院大学(東京都文京区)
	懇談会の部		17:30～19:00	
コモンズ投信運用報告会	【福岡】	10月6日(土)	15:00～16:15	アクロス福岡(福岡県福岡市)
	【東京】	10月8日(月・祝)	14:30～15:45	FinGate(東京都中央区)
	【大阪】	10月20日(土)	15:30～16:45	AP大阪梅田茶屋町(大阪府大阪市)
	【名古屋】	10月21日(日)	11:00～12:00	ウィンクあいち(愛知県名古屋市)
はじめてのコモンズ(ファンド説明会)		10月10日(水)	19:00～20:30	コモンズオフィス(東京都千代田区)
		10月18日(木)	19:00～20:30	
	【お子さま連れ歓迎】	10月20日(土)	14:00～15:30	
	【お子さま連れ歓迎】	10月23日(火)	13:30～15:00	
		10月24日(水)	19:00～20:30	
	【お子さま連れ歓迎】	10月31日(水)	13:30～15:00	
コモンズ30塾「企業との対話」 ～統合レポートを読み解く『堀場製作所』～		11月21日(水)	19:00～21:00	21Cクラブ(東京都千代田区)
コモンズのアナリストに聞いてみよう！		11月26日(月)	18:30～20:00	CAFE SALVADOR BUSINESS SALON(東京都中央区)

好評実施中！「つみたてキャンペーン」のお知らせ

10月31日(水)まで、新規口座開設&月3,000円以上のつみたてプラン申込、もしくはつみたてのファンド追加、月3,000円以上の増額等をお申込いただきますと、500円分の図書カードを差し上げます！詳細はこちらからご確認ください。

https://www.common30.jp/files/uploads/tsumitate_201808.pdf



販売会社一覧

販売会社名称		加入協会						つみたて NISA取扱
		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	日本商品先物 取引協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第578号	○	○			○	
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第50号	○					
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第195号	○	○	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第165号	○	○	○			○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第44号	○	○			○	○
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長 (登金)第2号	○					○
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第43号	○	○				
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第57号	○					○
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第36号	○	○				○
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第633号	○					○
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長 (登金)第1号	○	○				○
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商)第6号	○					
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第52号	○	○	○			
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第5号	○	○				○
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第10号	○					●
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第7号	○	○				●
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金)第6号	○					●
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金)第3号	○					●
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第10号	○	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第164号	○	○				○
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第142号	○	○	○		○	●
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第1977号	○					●
FFG証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長 (金商)第5号	○					●
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金)第56号	○					●
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長 (登金)第7号	○	○				
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金)第3号	○					
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第3071号	○					○
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商)第134号	○					
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商)第61号	○	○				○

●はつみたてNISAのみ

■ コモンズ30ファンドのリスクについて

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま(受益者)に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。

お客さま(受益者)には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

価格変動リスク	当ファンドは実質的に国内外の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、または取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があります。この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
為替変動リスクおよび カントリーリスク	外貨建資産を組入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失を生ずることがあります。また、当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、当ファンドの基準価額が大きく変動するリスクがあります。

■ その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。

コモンズ30ファンドの費用について

購入時手数料	(コモンズ投信の場合)ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合)販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。なお、販売会社における購入申込手数料率は3.24%(消費税込)が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年税込1.0584%(税抜0.98%)を上限とした率を乗じて得た額とします。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.108%(消費税込)を上限として投資信託財産より控除されます。上記の手数料(費用)等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託設定日	2009年1月19日
信託期間	無期限(ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。 よって、分配金は税金が差し引かれた後、自動的に再投資されます。 なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
購入単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価格	購入申込日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金の支払い開始日	換金申込日から起算して5営業日目
申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。 午後3時を過ぎてのお申込は、翌営業日のお申込みとして取扱います。

○当資料は金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。○投資信託は設定・運用を投資信託会社が行う商品です。

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご確認のうえ、ご自身の判断でお申込下さい。

金融商品取引業者
関東財務局長(金商)第2061号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

委託会社お問い合わせ先

■コールセンター (受付時間/平日 9時～17時)
03-3221-8730

■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>